

◆◆◆ 外間 勝嘉 議員 ◆◆◆



◆◆◆ 農業振興について ◆◆◆

**質** 平成18年農業の構成比が3.3%、平成23年が1.9%、5年後の目標として2.7%の構成比を目標に進めていくという答弁がありました。実績があればお聞かせ願います。

**答** 農林水産課長 佐渡山安正

恩納村の総生産額が4億996億3千1百万円、それに対して本村の農業生産額が約7億4千万円で、総生産額に占める構成比は1.5%ということになっております。目標にしておりまして2.7%よりは1.2ポイントも下がっている状況。

**質** 台風24号、25号の被害を受け、前年に比べてイノシシ被害の状況は。

**答** 農林水産課長 佐渡山安正

台風24号の影響で山の環境が大分変化している。平成28年度の捕獲数が38頭、平成29年度が58頭、今年、平成30年10月末で56頭の捕獲頭数。今後自治体の活動が円滑にできるよう、村も環境整備を整えていきたい。

**質** シンカプロジェクトの今後の展望は、地産地消という基本理念を守って、知恵を使って、一生涯命やるべきかと思っておりますが、4年間でシンカプロジェクトに投資をした予算は。

**答** 農林水産課長 佐渡山安正

金額は約850万円程度でございます。

**質** 今期の面積と生産個数、売り上げ目標は。

**答** 農林水産課長 佐渡山安正

平成28年度、約2百万円程度の販売総額、平成29年度においては約5百万円、前年度比約3百万円程度の増。

**質** 防鳥ネット用簡易ハウスあたり補助ができないか。

**答** 農林水産課長 佐渡山安正

鉄パイプ等、今後その件については、生産者も含めて調整させていただきます。

**質** LED電照用電球導入について今後の取り組みは。

**答** 農林水産課長 佐渡山安正

平成32年度に県の一括交付金で産地パワーアップ事業を活用してLEDの導入に向けて今、準備を進めているところでございます。

◆◆◆ 県道104号線の改修工事について ◆◆◆

**質** 今までの要請行動と現状、今後の取り組みは。

**答** 建設課長 崎山 敦

平成22年度から平成29年度まで要請行動を実施。平成30年度も国及び沖縄県、沖縄防衛局に要請行動に伴う進捗率の確認が必要。先月、防衛省に要請行動に行っております。

◆◆◆ 喜瀬武原冠水被害について ◆◆◆

**質** 区長、金武町、恩納村役場も防衛施設局の許可を得て、現地まで見た。その後どうなったか。

**答** 建設課長 崎山 敦

米軍施設内の2級河川億首川についても共同使用について米側と調整が必要で、先月、防衛省に要請行動を実施しております。

**質** 観光目的税の増加で、恩納分

遣所の出勤回数が多くなっている。世界水準の観光地にふさわしい迅速な救急体制の確立と、生命や財産を守るため、世界に通用する救急隊員の人材育成や先端屈折はしご車への投資が急務だと思いますが、観光目的税の項目にふさわしいか。

**答** 商工観光課長 宮平 寛

近年本村を訪れる外国人観光客は増加傾向にある。審議会等でこの観光目的税の用途についても審議していきたい。

◆◆◆ 屋嘉から名護向け高速インターチェンジと県道104号線から高速道路へのスマートインターチェンジについて ◆◆◆

**質** どの辺まで要請しているのか。沖縄県が直接動いていかないとなかなか厳しいと考えられますので、恩納村と金武町で定期的な話し合いができる問題解決委員会を設けては。

**答** 建設課長 崎山 敦

北部町村会を通して、沖縄県衆参議員等に要望活動を実施しております。平成30年7月に高速道路を管理する西日本高速道路株式会社と恩納村長、金武町長の連名で要請を実施した。

◆◆◆ 山田 政幸 議員 ◆◆◆



◆◆◆ 自然災害に対する危機管理体制について ◆◆◆

**質** 自然災害に伴う、長期停電・携帯電話の通話不良など、関係機関からの情報収集、また公民館への伝達、指示など防災対策本部と区との連携体制はどのようになっているか。

**答** 総務課長 新里勝弘

随時、各区長からの停電情報に対応しています。水道水、飲料水につきましては各行政区、各公共施設に住民への水の提供をお願いし、その内容も役場ホームページで発信しています。

**質** 村民が避難する場所として通常、各字公民館が主な避難場所だと思いが、村の指定する避難場所と指定されていない公民館の相違点を伺います。

**答** 総務課長 新里勝弘

字公民館においては、随時区長が待機し、区民の受け入れをしております。村としての避難場所というのは、県の情報システムに報告し、それをマスコミがテレビのテロップで流しています。観光客や区外の方が来ても対応できるように、三か所の避難場所として役場には、数名の職員が待機しており、富着、名嘉真には一人を配置しております。

**質** 海岸線に面した国道58号線、道路上に障害物や砂がたまり、村内各所で車の通行不良が見られた。また、停電による信号機が

**答** 総務課長 新里勝弘

機能しない主幹道路の交差点では、事故も何件が発生している。今後の二次被害への対策としてどう考えるか。

**答** 総務課長 新里勝弘

発電機を伴った蓄電池信号機を、主要交差点には設置要請を行っていききたい。倒木等に関してもパトロール中に通れない箇所は簡易的な撤去をやっているところですので。

◆◆◆ 地下水採取規制に関する条例の制定について ◆◆◆

**質** 近年、内地などの各地方での市町村では地下水採取条例を制定し、地下資源の確保に取り組んでいると聞いています。本村においても今後更にリゾート開発、ホテル建設など加速されると思われることから、行政、村民、事業者などが取るべき地下水採取の適正化、保全などに関する施策を総合的に実施する必要があると思いが。

**答** 村民課長 屋良朝也

国道より山側に開発がふえると、水道管から離れた場所になり、そうすると地下水を採取するほ

うがコストが安くなる。そうなること、事業者の採取が増える可能性を考えると、自然環境、地下資源の保全などからルールづくりが必要だと思いが。いろんな方面からの意見を聞くなど、既に条例を整備している市町村の状況等を確認しながら検討が必要だと思いが。

**質** 生活環境上、地下水も公共性の高い貴重な財産。将来にわたり村民の安定した生活環境が維持できるよう、地下水保全条例の制定が急務と思うが、村長の見解を伺います。

**答** 恩納村長 長浜善巳

リゾートの開発が今後も増えるだろうと予想されます。それに伴い、地下水を採取する事業者も増えてくると予想しております。それを踏まえて、今後自然環境、地下水資源の保全など、ルールづくりも必要と思っております。今後関係する区、開発する事業所、他市町村の状況を確認しながら検討が必要と考えております。